

音声収録マニュアル

本資料はパワーポイント等の資料に音声を入れ、
動画に変換する方法を
ご案内しております。

ご準備いただくもの

■ パソコン (Windows or Mac)



■ 作成いただいた発表スライド



■ 音声通話ができる機器



※有線タイプを推奨しています。
ワイヤレスの場合、途中で通信が切れる可能性があります。

はじめに

作成いただいたスライドについてご確認ください

□スライドはMicrosoft PowerPointにて作成ください。

※King SoftなどのOpen Officeはご利用できません。

※【Keynoteで作成された場合】

必ずPowerPointへ変換し、文字ずれ等の確認再生確認を必ず行った後で音声を録音していただきます(手順はP.25～ 参照)

□スライドのサイズは、ワイド版にて作成いただくことを推奨します。

□スライド内で動画ファイルがある場合、mp4形式のものでスライドに埋め込んでください。(リンクでの動画再生はできません。)

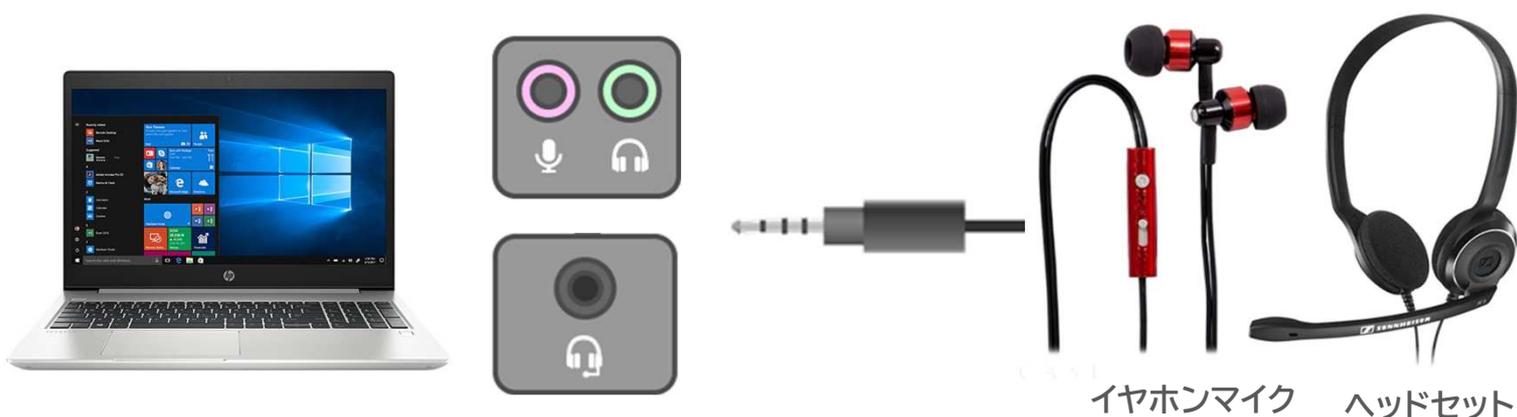
□フォントはOSに標準搭載されているものをご使用ください。

1. 機材をセットしてください

- ◆PCの準備 - USBタイプのマイクスピーカー・ヘッドセットの場合 -
マイクスピーカーに付属のUSBケーブルでノートPCに接続してください。



- ◆PCの準備 - イヤホンジャック型のイヤホンマイク・ヘッドセットの場合 -
イヤホンジャックをノートPCに接続してください。



PCのイヤホン端子に接続
マイクと音声(ヘッドホンマーク)が分かれているPCはマイクに挿してください。
(変換プラグが必要になる可能性があります。)

変換プラグ

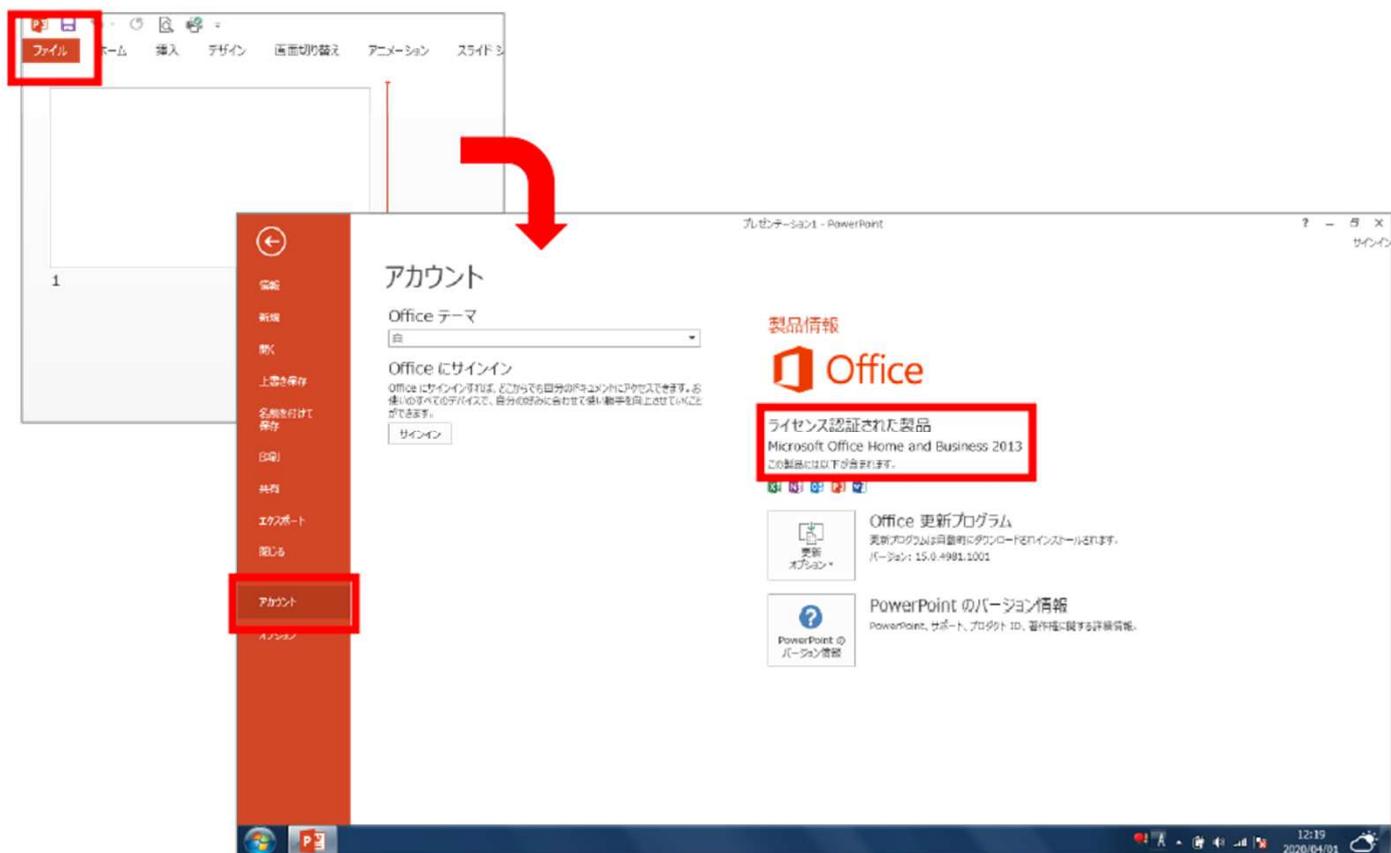


2.パワーポイントのバージョンを確認してください

パワーポイントのバージョンによって音声の収録方法が異なりますので最初に確認いただきます。

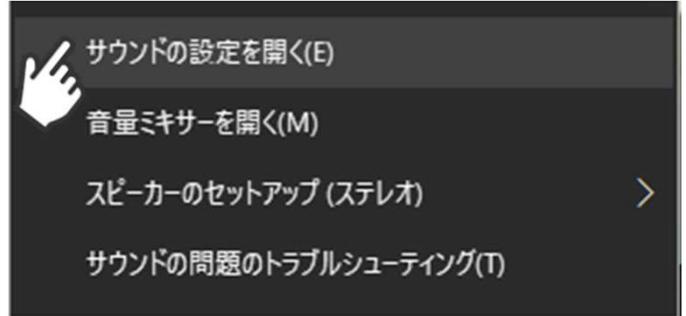
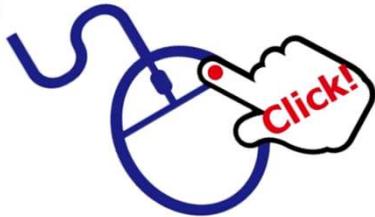
<確認手順>

- ①PowerPointを開く
- ②[ファイル]のタブをクリック
- ③[アカウント]のタブをクリック



3.PCの設定をしてください(サウンド設定)

①タスクバーの音量マークを右クリックしサウンドの設定をクリックします。



②入力デバイスが外付け、または内蔵マイクのどちらかになっていることを確認してください。

③マイク入力テストで入力レベルの確認が出来ます。

入力

② 入力デバイスを選択してください

マイク (HD Webcam C270)

アプリによっては、ここで選択したものと異なるサウンドデバイスを使用するように設定されている場合があります。サウンドの詳細オプションでアプリの音量とデバイスをカスタマイズします。

③ デバイスをカスタマイズします。

デバイスのプロパティ

マイクのテスト

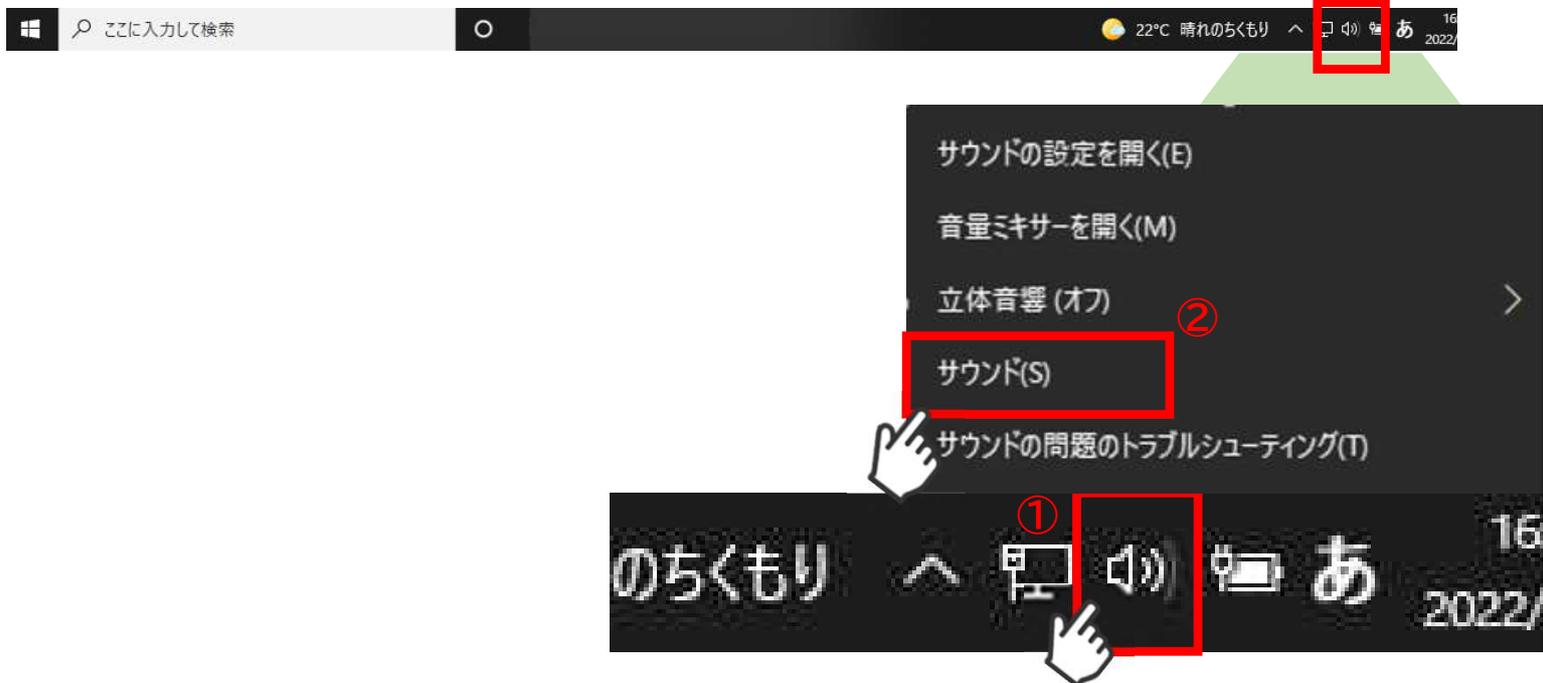
トラブルシューティング

サウンド デバイスを管理する

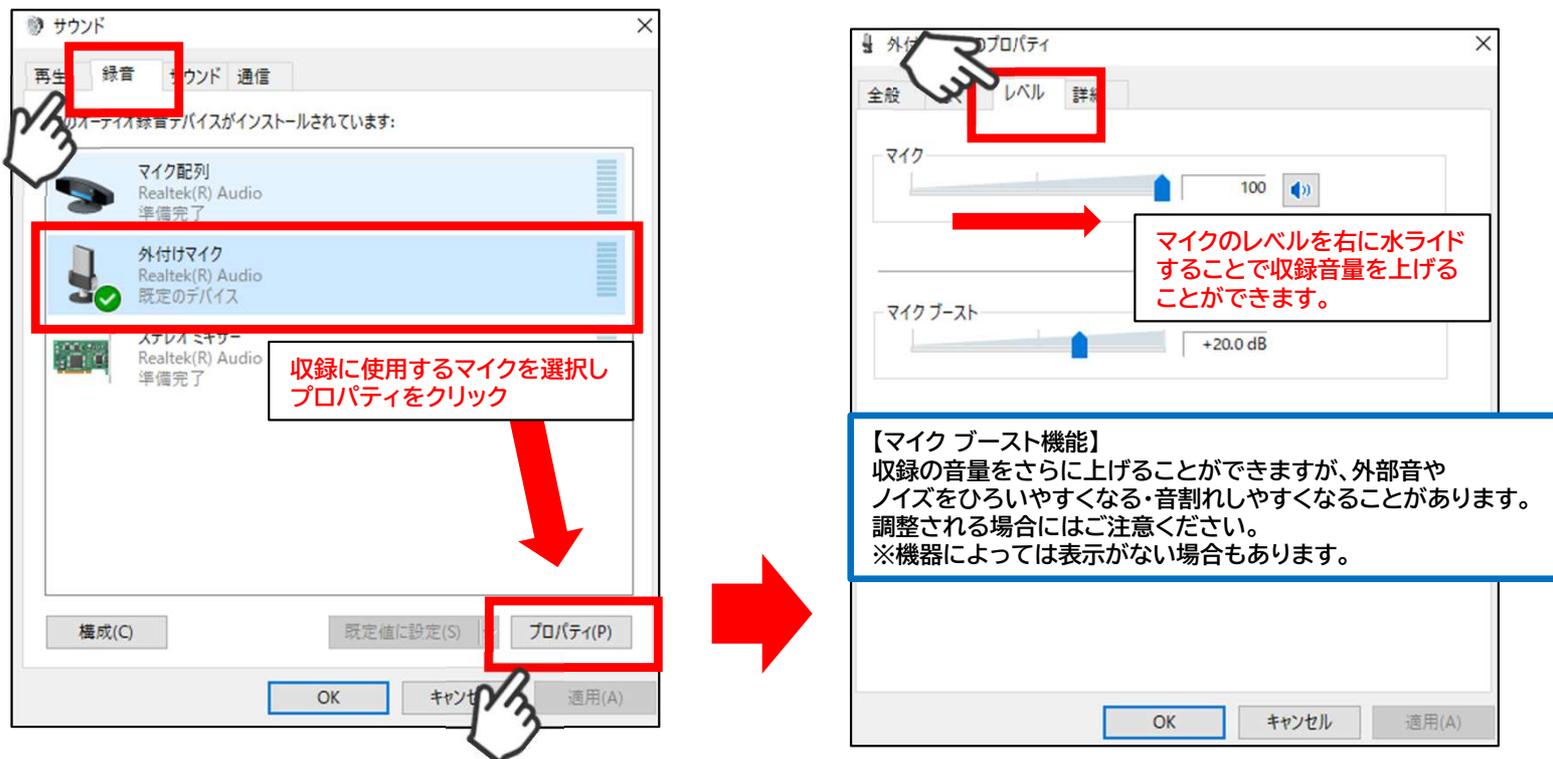
3. 収録マイク音量の調整をしてください

◆Windowsで収録音量を調整する場合

ツールバーのスピーカーのアイコンを右クリックし、サウンド を選択します。



サウンドのメニューが開きますので「録音」タブを選択します。
収録に使用するマイクをクリックしプロパティを開いてください。



プロパティ画面にて「レベル」タブを選択し、マイクのレベルを右にスライドすると収録音量を上げることができます。

◆Macで収録音量を調整する場合

アップルメニューボタンをクリックしてメニューを開きます。
開いたメニューから「システム環境設定」> サウンド を選択します。



サウンドのメニューが開きますので、収録用のマイクを選択します。
「入力音量」のレベルを右にスライドすると収録時の音量を上げることができます。

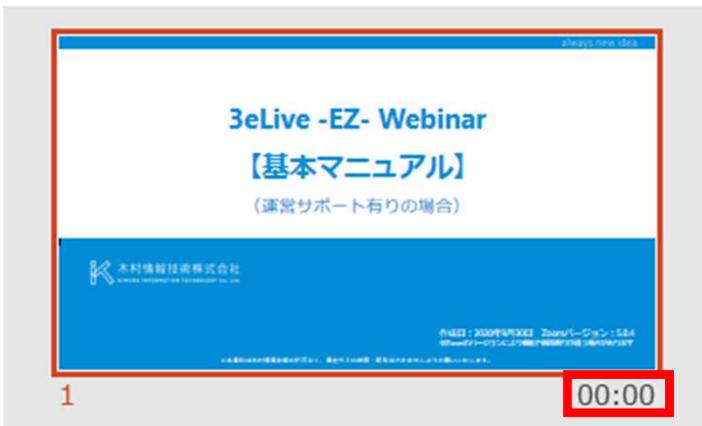
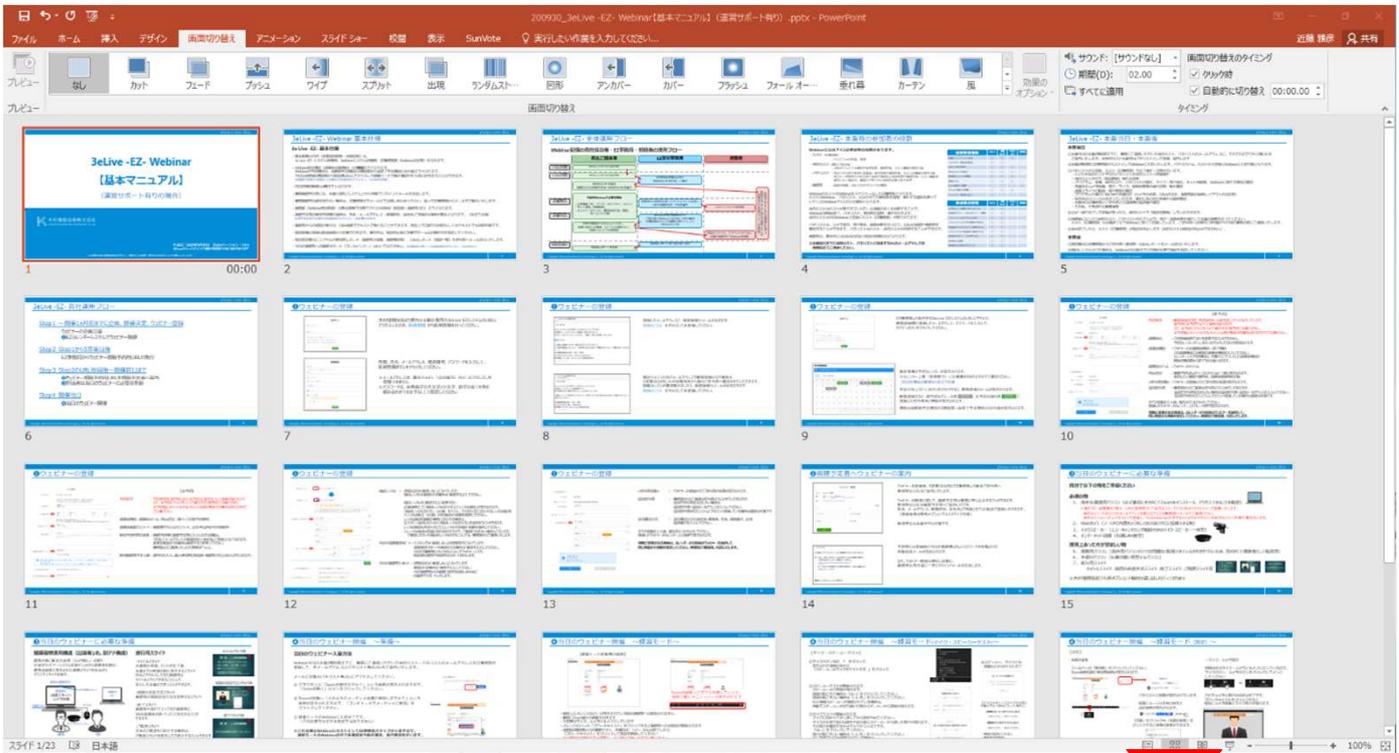


収録にあたっての注意事項

- ナレーション録音をするにあたって、予めパソコンとマイクかヘッドセットを接続した状態にしてください。マイク装備のついているノートパソコンの場合は内臓のマイクでもかまいません。
- マイクが装備されていないノートパソコンやデスクトップパソコンを使用する場合は、外付けのマイクをつなぎ、音声の録音をお願いします。
- 録音の際は極力、静かな場所で周りの環境音が入らないようにお願いします。
- ページの切り替わり時、ナレーションの録音はされません。
ページの切り替わりを確認し音声を録音してください。
※必ず次のページの“収録の前に”の作業を実施ください。
- 動画のハイパーリンクは使用できません。
動画を使用の場合は、スライドに【挿入】してください。
- Macの場合、マウスカーソル、レーザーポインターモードが録画できない事例が見受けられます。ご注意ください。

4. 収録の前に【Windows Mac共通】

- ・収録の前にPowerPointを【スライド一覧】で表示し、スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。



スライド一覧表示ボタン

秒数が入っている場合、
 上部のタブ【画面の切り替え】⇒【画面の切り替えのタイミング】⇒【自動的に切り替え】の✓を外してください。※OS、バージョンによって表示が異なります。(画面はPPT2016)



5. 音声収録を行ってください

スライドP5で確認したバージョンが【office365】の場合

収録 マニュアル 【office365】

【office365】使用時の注意点

◆Webブラウザ版とデスクトップアプリ版について

Web版のMicrosoft OfficeはWebブラウザ上でWordやExcel、PowerPointといったアプリを利用することができるサービスであり、Microsoftアカウントさえ取得すれば無料で利用できます。

Web版のMicrosoft Officeでは思い通りの資料を作成できなかつたり、作業効率の点で不満を覚えたりする可能性があります。利用できる機能には制限があり、すべての機能を利用するには、Microsoftのクラウドサービスである「Microsoft 365」のアカウントが必要です。

インパクトの強い発表を行うための機能や、わかりやすい資料を作るための機能、プレゼンをスムーズに進行するためのツールなどが省かれているため重要な業務で使うのであれば、デスクトップ版が必要となります。

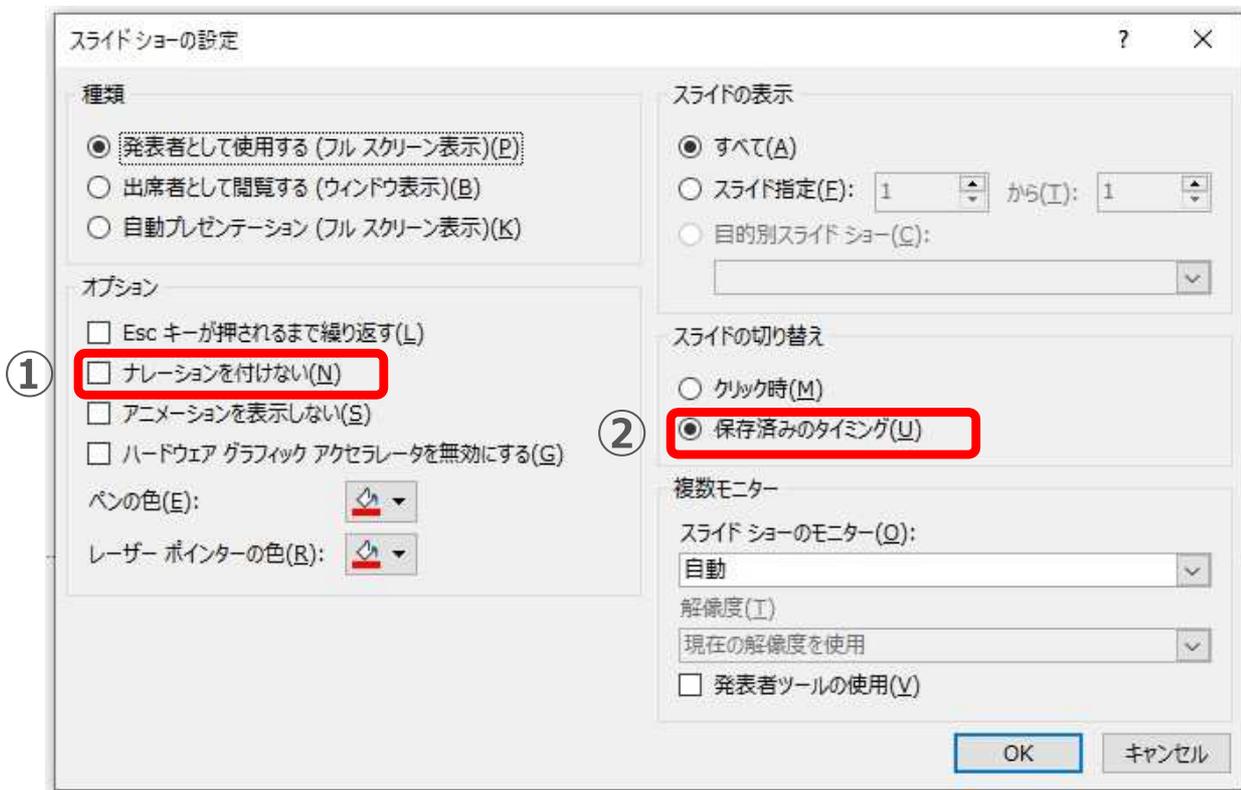
サービスの制限を多く見受けられましたので資料作成、収録の際はデスクトップアプリ版にて作成を推奨します。

次ページからもデスクトップアプリ版の作成を行っております。

収録データ作成手順

◆Power Pointの設定 – office365 –

発表スライドを立ち上げ、スライドショーのタブからスライドショーの設定をクリックします。



① <オプション>

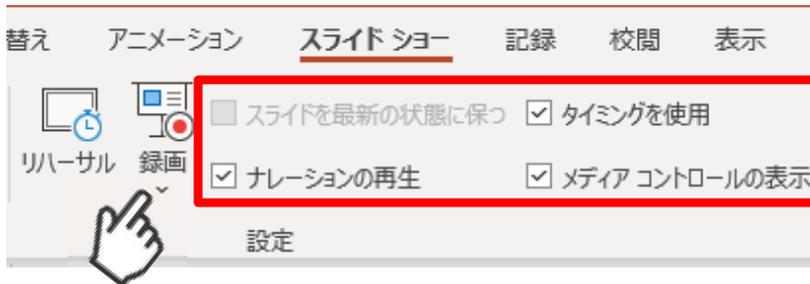
ナレーションを付けないにチェックが外れていることを確認してください。

② <スライドの切り替え>

保存済みのタイミングを選択してください。

◆Power Pointの設定～録画 – office365 -

スライドショーのタブから録画をクリックします。



ナレーションの再生
タイミングを使用に
チェックが入っていることを
確認してください。

先頭から録音を開始をクリックします。
録画面面に切り替わりますので録画ボタン  を押してください

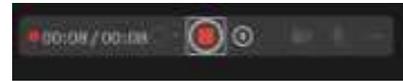


◆Power Pointの設定～録音 - office365 -

録音が始まると録音ボタンの左に時間がカウントされ録画が始まります。
(少し間を空けてからお話し下さい)音声、スライド送りのタイミングなどが記録されます



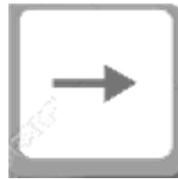
録音時間が進んでいることを確認ください



キーボードの→で次のスライドに進みます。←で前のスライドに戻ります。



進む



戻る

【動画について】



「クリック時」「自動」「一連のクリック動作」の選択できますが、
次のスライドに送る際、動画の最初に戻り再度動画を再生してしまいますので**クリック時を推奨**します

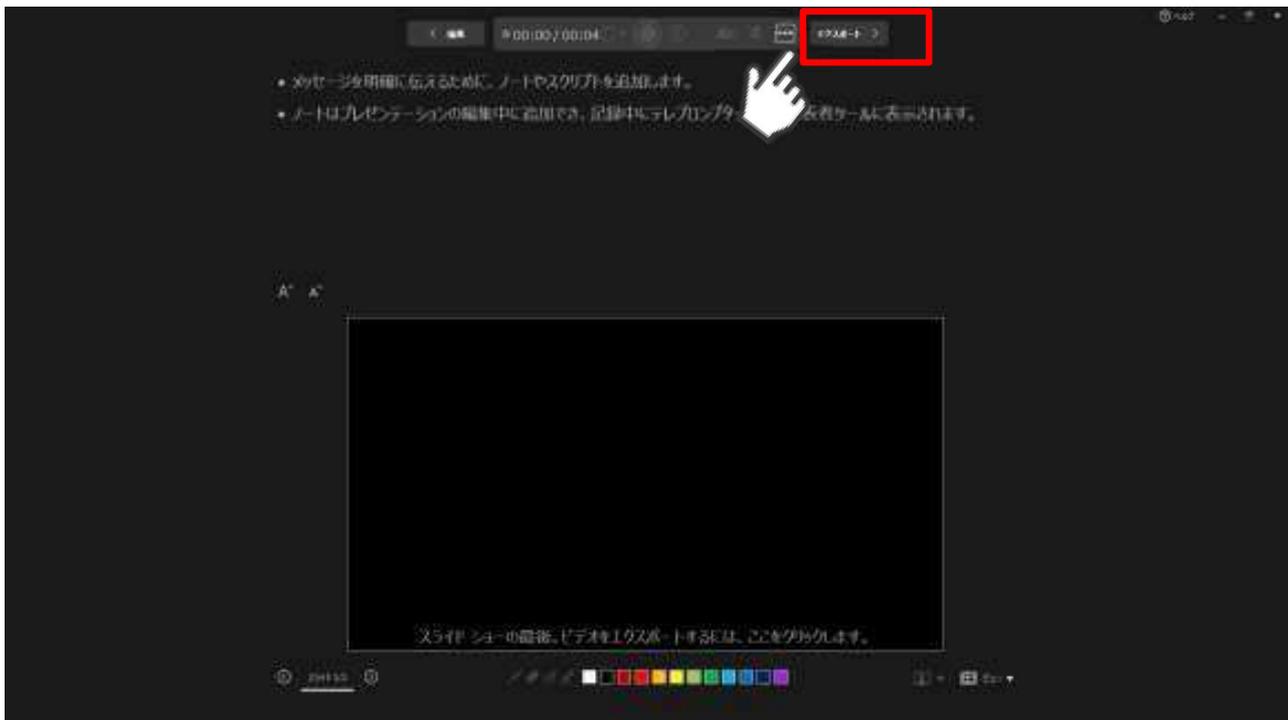
◆Power Pointの設定～録音終了 - office365

-

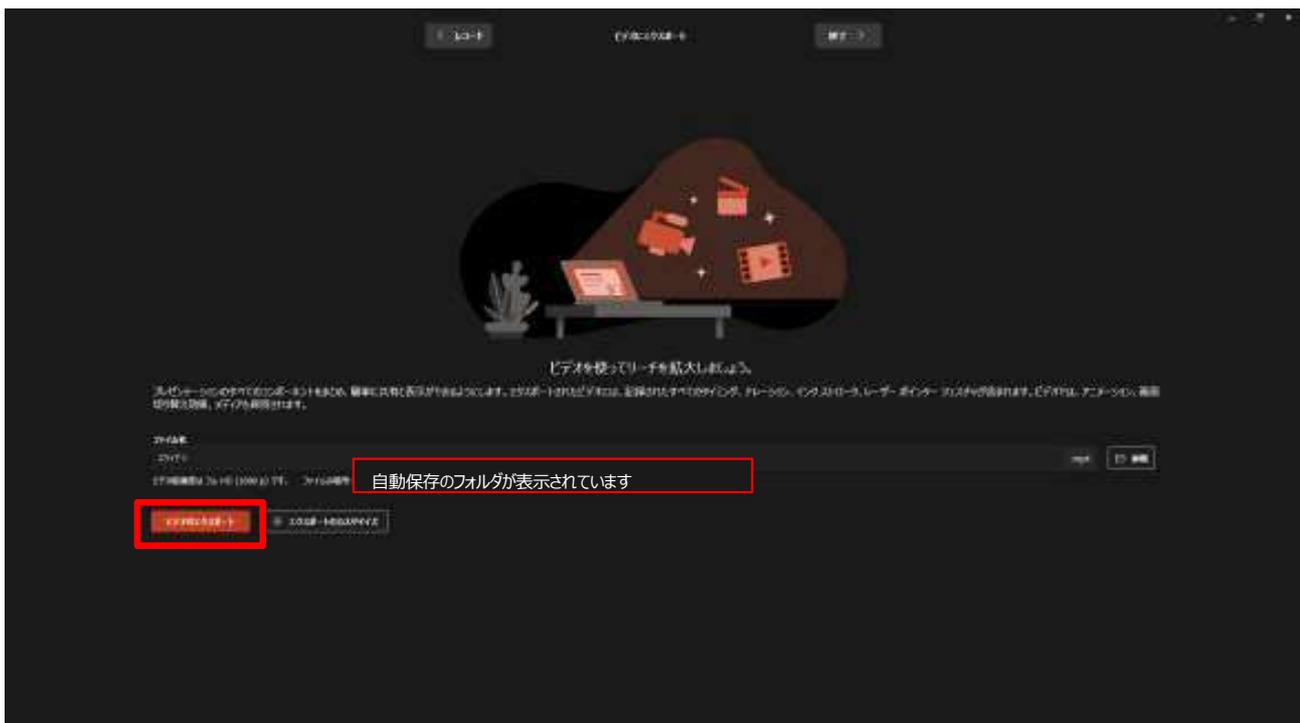
最後のスライドを出した後で自動で録画が停止されますので

エクスポート >

から録画データを保存して下さい。

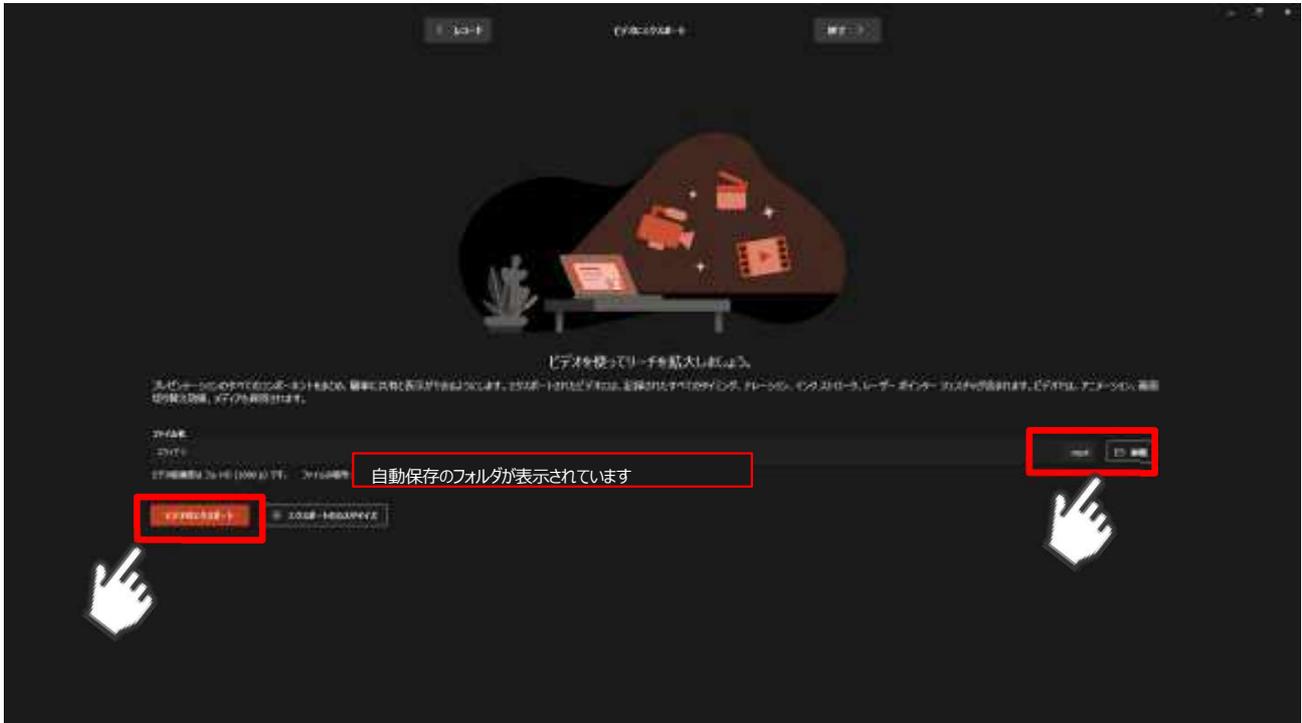


画面が切り替わりビデオのエクスポートを押すと録画データが作成されます

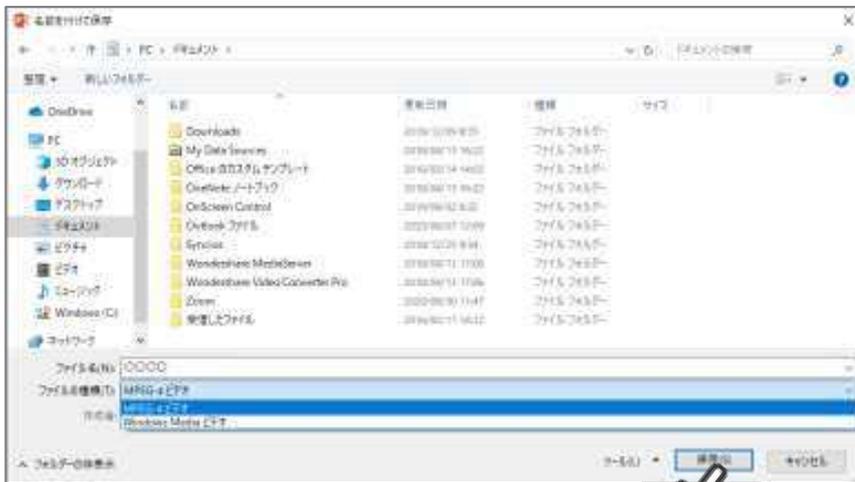


◆Power Pointの動画の保存 - office365 -

ファイル形式の変更が必要な際は参照から形式を変更しエクスポートしてください



エクスポート完了後、スライドを一旦閉じ音声や切り替えのタイミングなどを確認して頂き問題なければご登録をお願いいたします。



ファイルの種類(T):	MPEG-4 ビデオ
作成者:	MPEG-4 ビデオ Windows Media ビデオ

ファイル形式はMP4を選択してください！

スライドP5で確認したバージョンが【PPT2019】の場合
※365以外

収録 マニュアル 【Windows PPT2019】

収録データ作成手順

◆Power Pointの動画形式の保存 - PowerPoint2019 -

発表スライドを立ち上げ、スライドショーのタブから【スライドショーの記録】をクリックします。

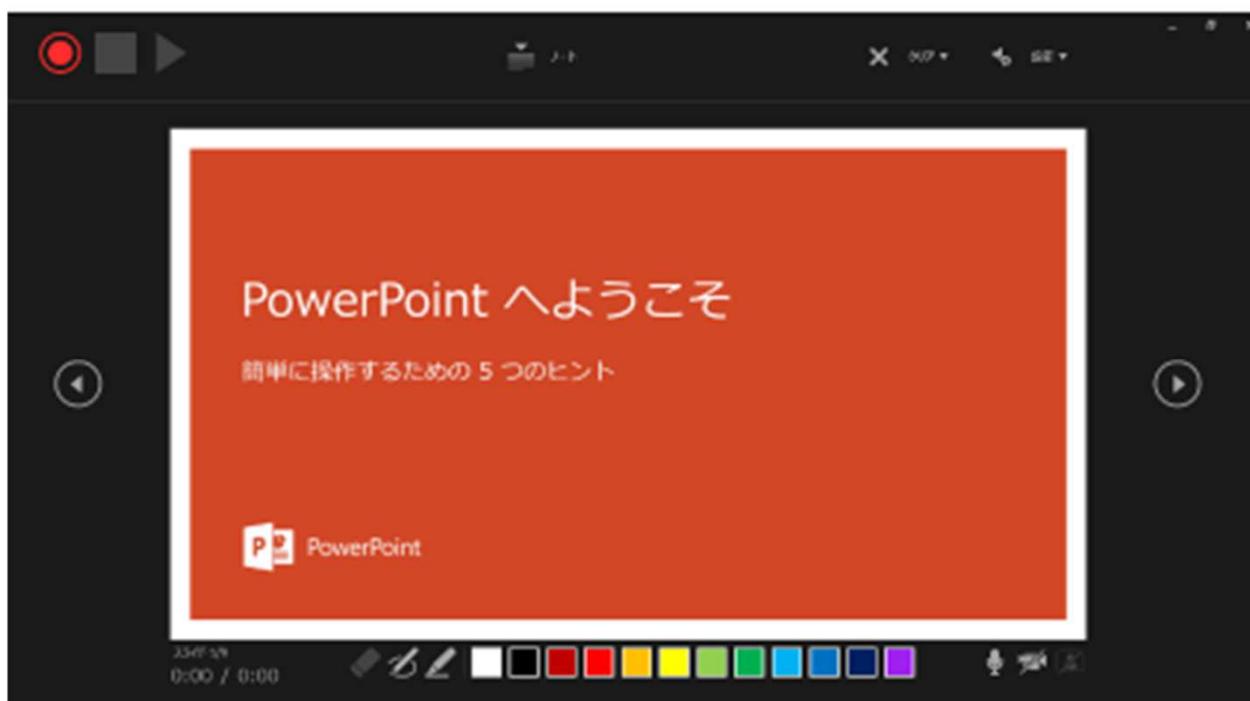


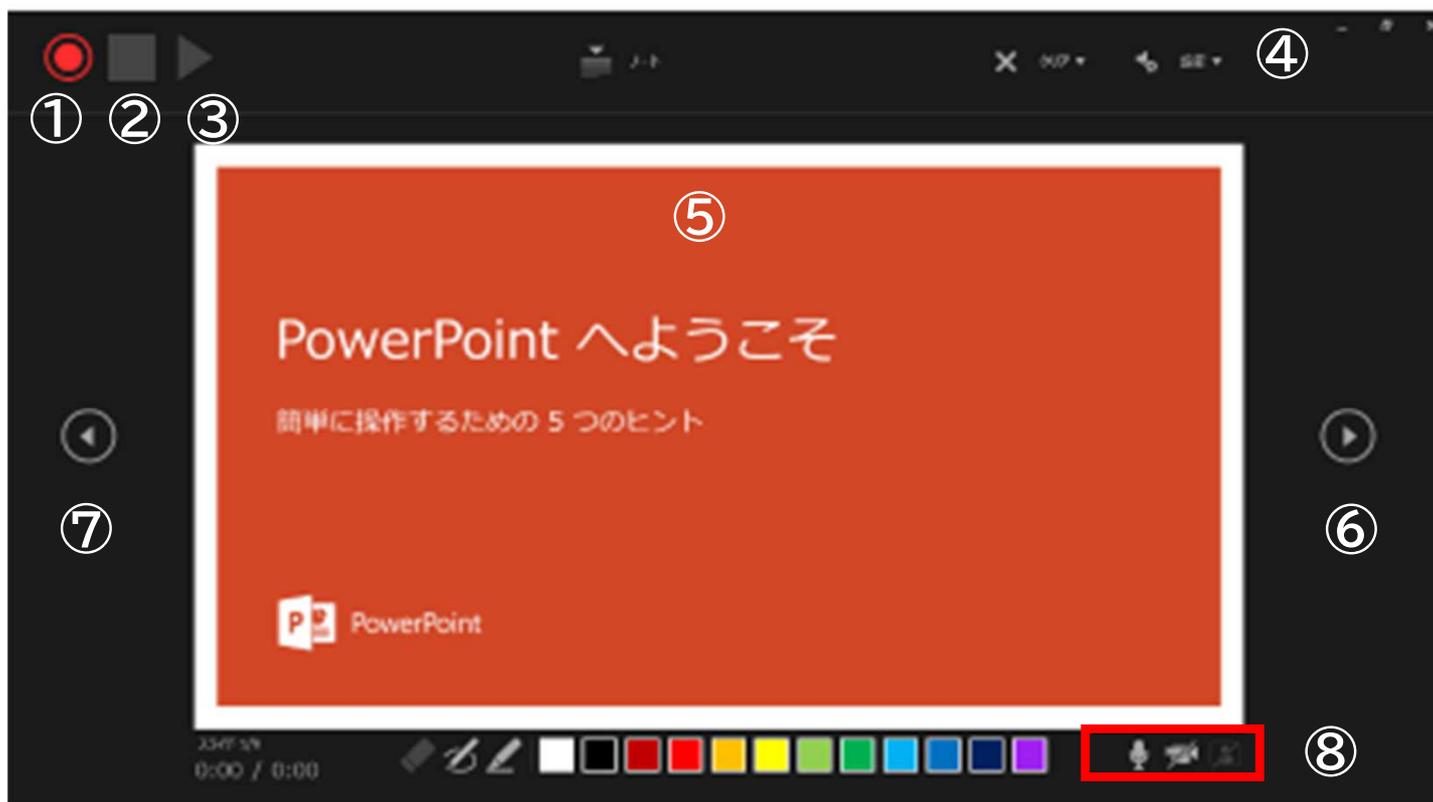
【先頭から記録】をクリックし記録画面に進んでください。



録画スタンバイ状態となります。

(この状態でスライド動かしてもアニメーションは正常に動きません)



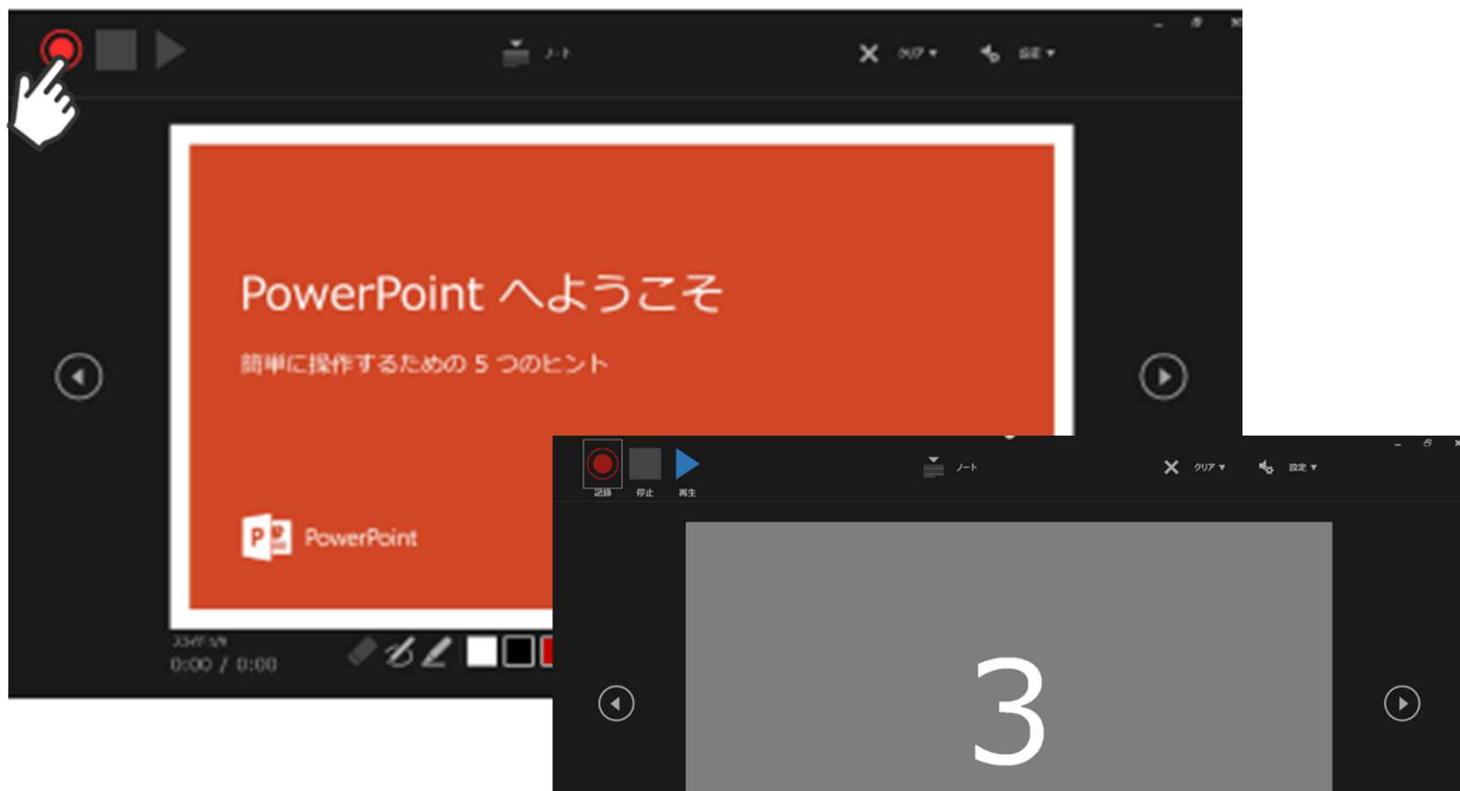


■画面の説明

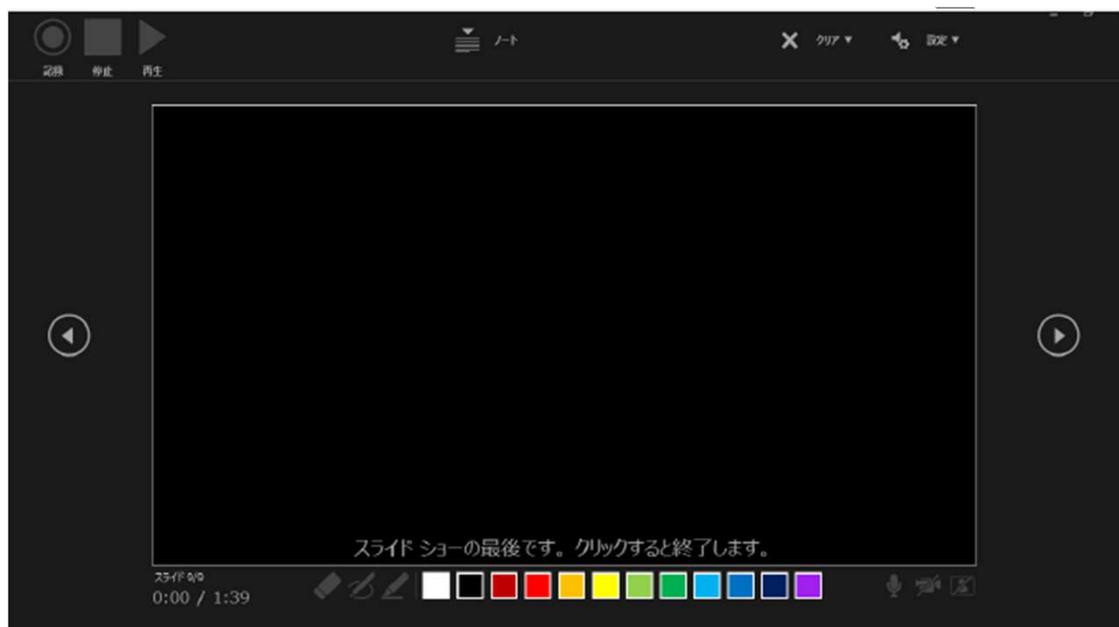
- ①記録ボタン:録画を開始・一時停止
- ②記録停止ボタン:収録を停止します
- ③再生ボタン:録画した映像・音声を確認できます。
- ④設定:接続したマイクが表示されます。ヘッドセットをご使用の場合、ヘッドセットの機種名を選択してください。
- ⑤発表スライド画面:表示されている画面が録画されます。
- ⑥進む:次のスライドに進みます。
- ⑦戻る:録画を停止し、1枚目の戻りプレビューができます。
※録画時は戻ることはできません
- ⑧カメラ・マイクON/OFF

準備が整いましたら、記録ボタンをクリックしカウントが始まりますので収録を開始してください。※マウスカーソルは記録されません【Ctrl+L】で【レーザーポインターモード】をご使用ください。

※レーザーポインターモードではスライド送り、動画のクリックが出来ませんのでご注意ください。



カウント画



最後まで勧めると自動的に録画が停止になります。
上記、画面からもう一枚進めるとスライド一覧の画面に戻ります。

◆Power Pointの動画形式の保存 - PowerPoint2019 -

Power Point上の左上ファイルをクリックします。エクスポートをクリックし、ビデオの作成をクリックします。ファイル形式を選び最後に保存をお願いします。



赤枠部分が、【HD(720P)】・【記録されたタイミングを使用する】になっている事を確認してください。表記が違う場合は、項目横の▼で該当項目を選んでください。

ファイルを任意の場所に保存してください。拡張子がmp4になっている事をご確認ください。



【保存】ボタンを押すと下部にバーが表示されます。



完成した動画は音声やスライドのタイミングがないか必ずご確認ください。

収録 マニュアル 【Mac PPT2019】

PowerPoint 2016 For Macをご使用の方は、ソフトの仕様上動画にエクスポートする機能がございません。他のバージョンで動画に変換していただくか、Keynoteをご使用ください。

収録データ作成手順

◆Power Pointの動画形式の保存

発表スライドを立ち上げ、スライドショーのタブからスライドショーの記録をクリックします。



ナレーションの再生・タイミングを使用にチェックが入っていることを確認してください。



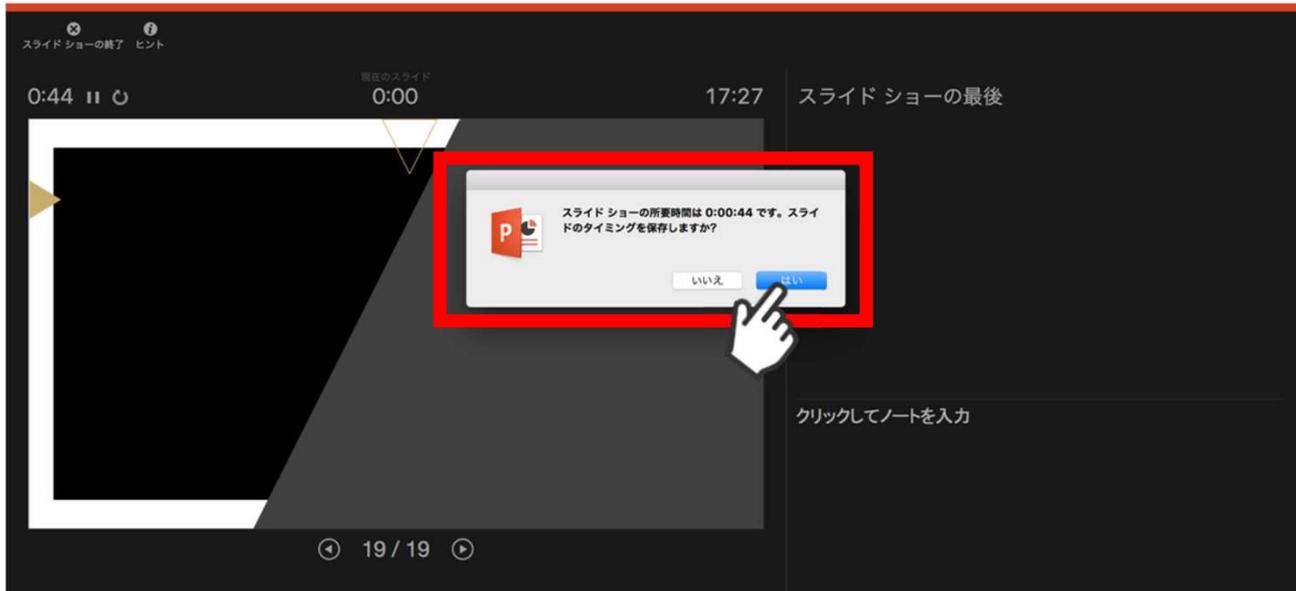
スライドショーの記録を押し、収録を開始してください。

※選択されたスライドから記録が開始されます。
1枚目を選択した状態で記録の開始を行ってください。

マイクに向かってナレーション録音します。
スライドも任意のタイミングで進めてください



スライドショーを終了すると、ポップアップが表示されます。
【はい】をクリックし保存してください。



収録が終了しましたら、PowerPointを保存してください。
再度ファイルを開きスライドショーで確認し、
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

◆Power Pointの動画形式の保存 -Mac PowerPoint2019 -
左上ファイルをクリックします。エクスポートをクリックし、ファイル形式を選び最後に
エクスポートをお願いします。



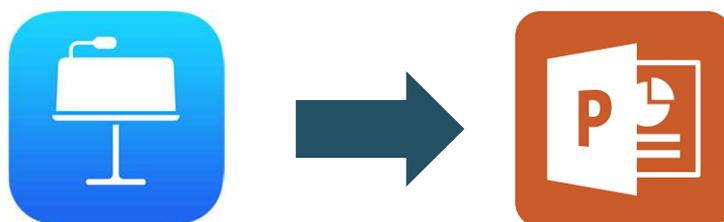
変換しています: ビデオ test_pattern.mp4 をアップロードしています

完成した動画は音声やスライドのタイミングがないか必ずご確認ください。

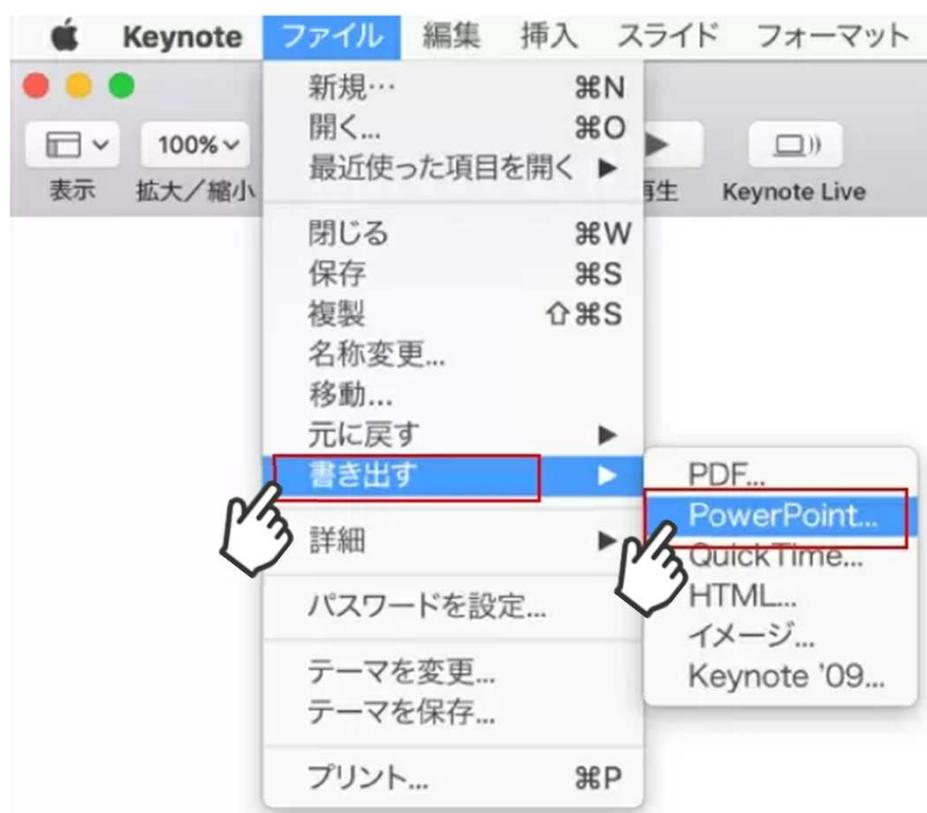
収録 マニュアル 【Keynote】

文字ずれ等がないかをPowerPointに変換して確認する

Keynoteで作成した場合こちらの手順で変換し文字ずれが無いか確認再生をしてください。



1. MacのKeynoteアプリからKeynoteのファイルを開きます。
2. 画面上の「ファイル」メニューをクリックし、「書き出す」を選択し、「PowerPoint」を選択します。「詳細オプション」からフォーマットで「.pptx」を選択し、「次へ」をクリックします。



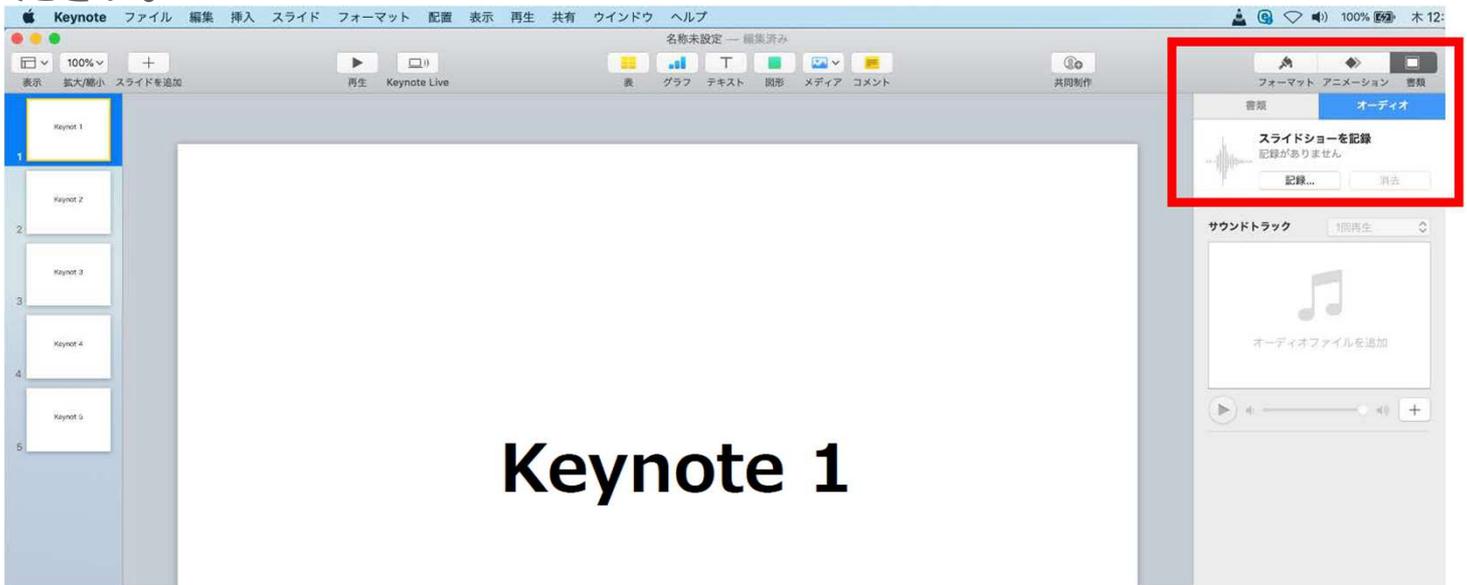
3. ファイル名を入力するかデフォルトのままにして、ファイルの保存場所を選び「保存」ボタンを選択します。
※保存した場所がわかる場所に保存してください。



収録データ作成手順

◆Keynoteの動画形式の保存

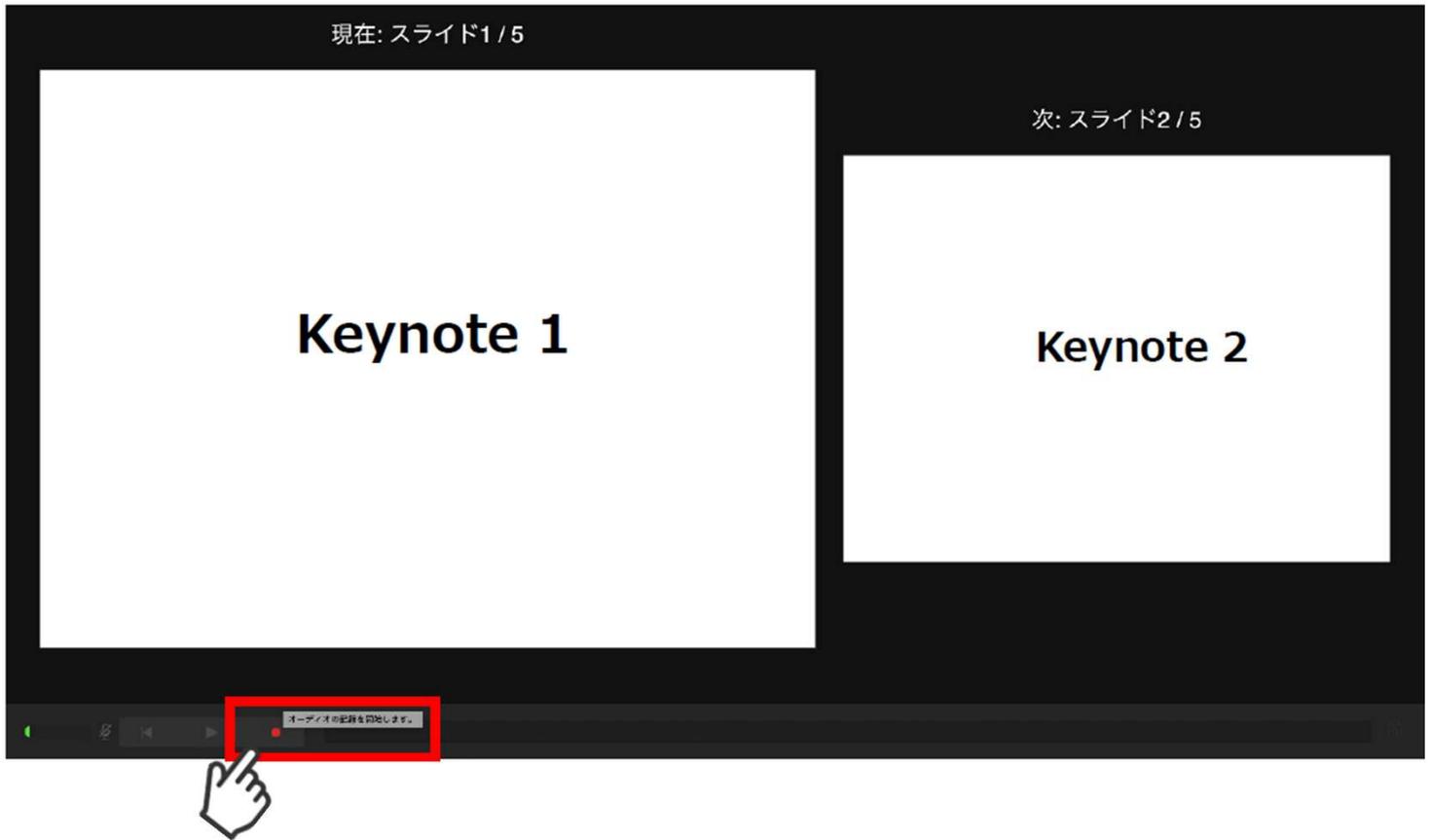
画面右上の【書類】⇒【オーディオ】を選択し、スライドショーの記録をクリックしてください。



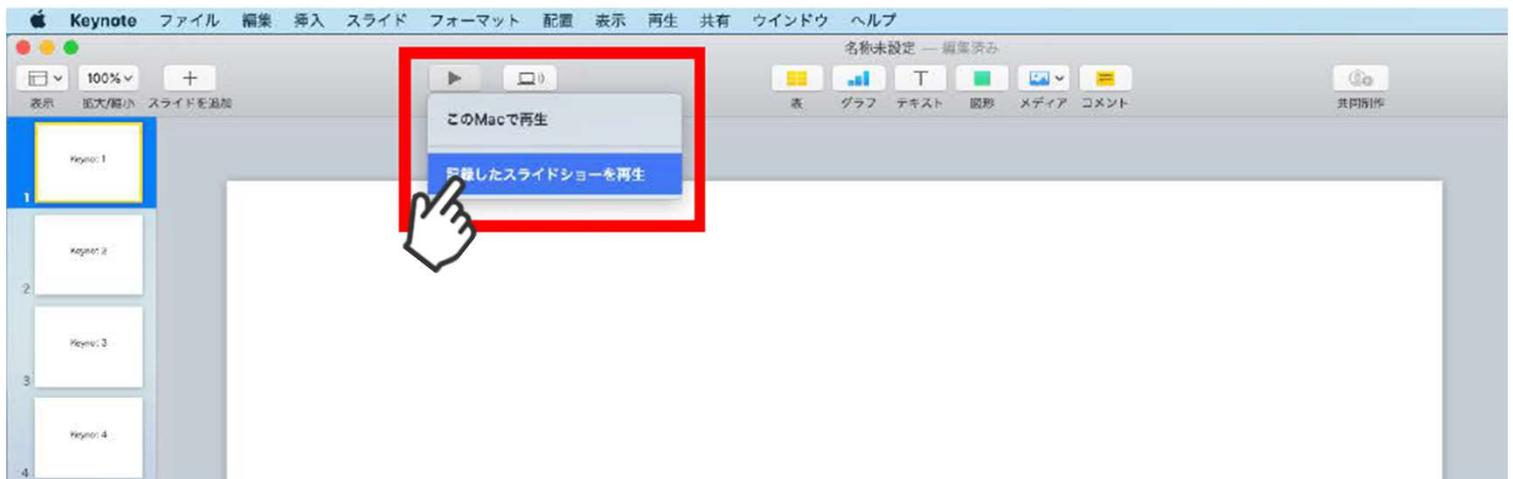
収録画面が表示されます。画面下の録画ボタン●を押して、収録を開始してください。



収録が終わりましたら画面下の録画ボタン●をもう一度押して、収録を停止してください。

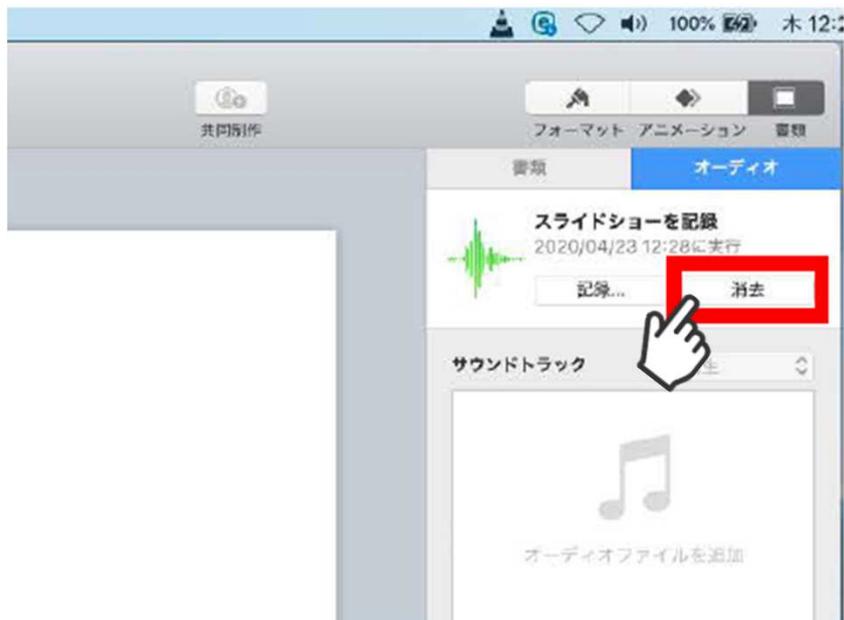


収録が終了しましたら、Keynoteを保存してください。
再度ファイルを開き、【再生】⇒【記録したスライドショーを再生】で音声やスライドの
タイミングに問題がないか確認してください。



◆Keynoteの動画の削除

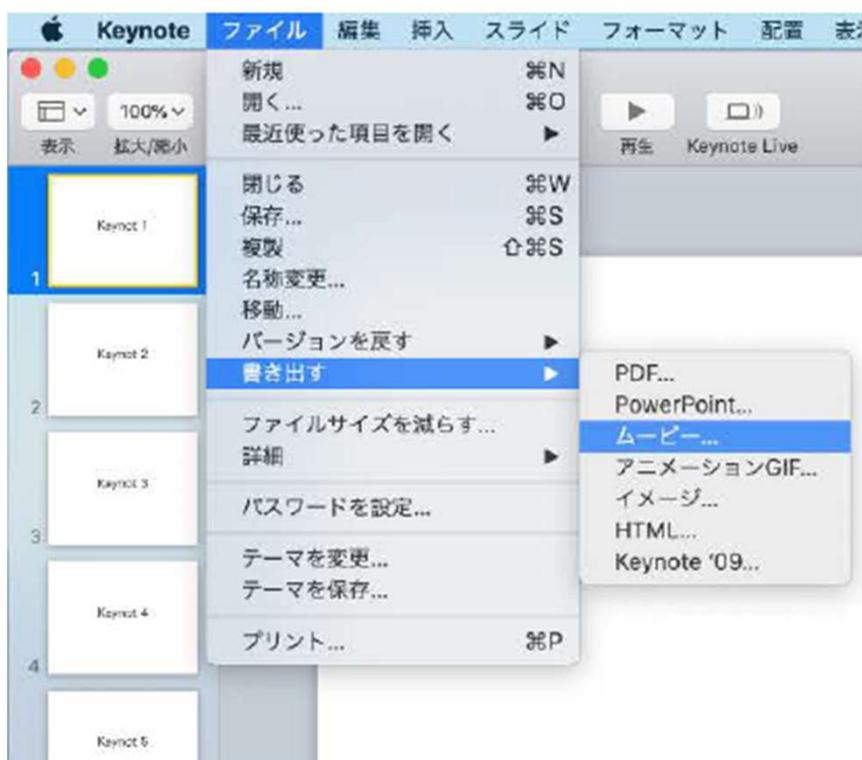
撮り直したい場合、右上の削除をクリックして再度、収録をお願いします。



◆Keynoteの動画への変換方法

【ファイル】⇒【書き出す】⇒【ムービー】を選択してください。

※バージョンによって表記が異なる可能性があります。



- ・再生項目【スライドショーの記録】
 - ・解像度
4:3の場合【1024×768】
16:9の場合【720P】
- を選択し、次へ進んでください。



◆Keynoteの動画への変換方法

ファイルを任意の場所書き出してください。



ムービー作成が終了するまでお待ちください。



完成した動画は音声やスライドのタイミングがないか必ずご確認ください。

6. 保存された動画についてご確認ください

□保存する動画形式はmp4形式で保存してください。

□データは2GB以下で作成してください。

※アップロードの際、データ容量と電波環境でうまくアップロードできない可能性がございます。

(300MBのデータアップロードで約1時間(通信環境にもよります)かかります。)

※保存したフォルダ内でファイルの“拡張子”が表示されるようにすることを推奨します。
収録をした後に保存される形式で動画ファイルなのか音声ファイルなのかが一目でわかるので便利です。(拡張子の表示方法は次のページにて)

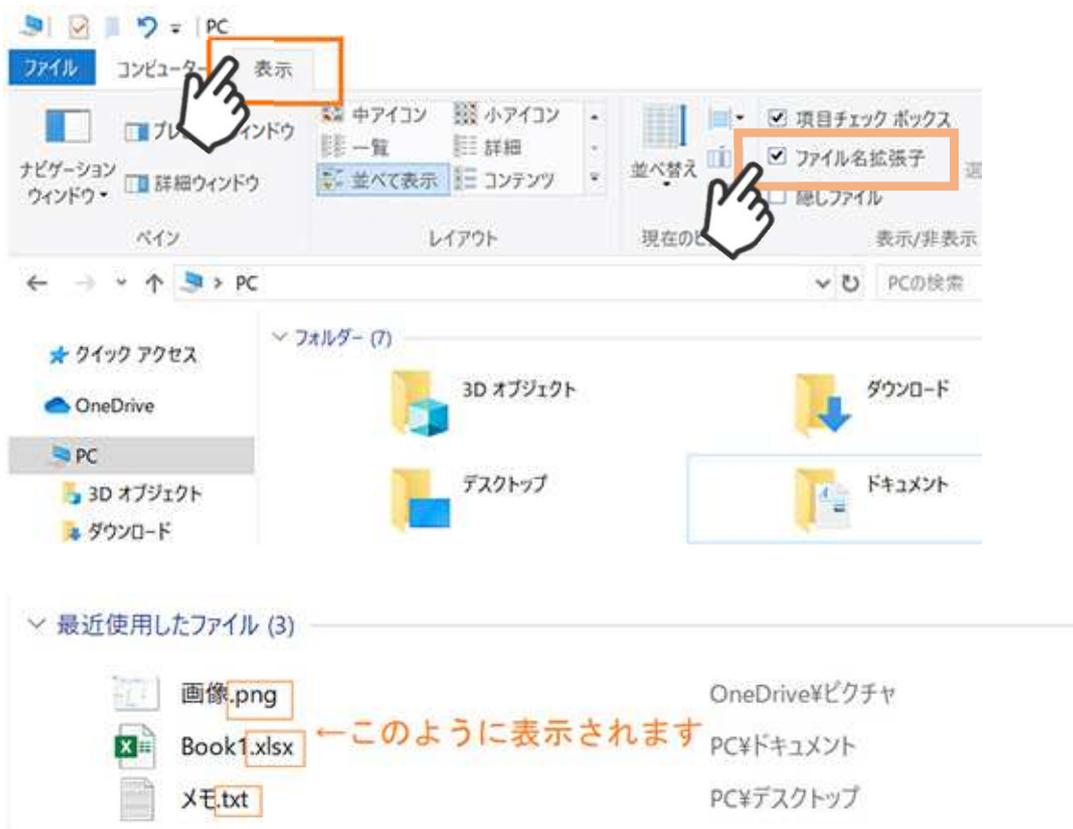
拡張子の表示方法

◆ Windows

タスクバーから「**エクスプローラー**」アイコンをクリックします。



「**表示**」タブをクリックし、まず「**ファイル名拡張子**」チェックボックスにチェックをつけます。



◆ Mac

設定方法は「Finder」の「環境設定」を開き、「詳細」を選択します。
あとは「すべてのファイル名拡張子を表示」にチェックします。
その下の「拡張子を変更する前に警告を表示」にもあわせてチェックしておけば、
誤って拡張子を削除したり、変更してしまうリスクも減らすことができます。



下記のようにすべてのファイルが表示されます。



以上です。
期限までにご提出を
お願いいたします。